

## 1. めんたいログの見方

### a. 期間

解析するログの期間を設定します。簡易設定と詳細設定があります。  
詳細設定は日付を直接入力して期間を設定します。

画面では、別枠になっており、「詳細設定を使用」という項目を選択すると詳細設定が適用されます。

#### 簡易設定

アイテム	開始日	終了日
全ての期間	最初	今日
ココ一年間	365日前	今日
ココ一月間	30日前	今日
ココ一週間	7日前	今日
今日	今日	今日
昨日	昨日	昨日
昨週	先週の日曜	先週の土曜
昨年	先月の一日	先月の晦日
昨年	昨年 of 元旦	昨年 of 大晦日
詳細設定	期間の詳細設定をする	

#### 詳細設定

詳細設定をするためには、簡易設定で「詳細設定」の項目を選択してください。  
アクセスの解析をしたい期間の始まりと終わりの年月日を入力します。  
2003年9月1日を解析した場合は、2003年9月1日～2003年9月1日と入力します。

### b. ページ

登録しているページのなかからアクセス解析をおこないたいページを選びます。  
任意のページを複数選択することができます。  
全てを選ぶと(他の選択にかかわらず)全てのページを解析します。

### c. 出力

出力するデータの種類を選んでください。

頭に“→”がついた項目は、元のデータ(垂れ下がっている部分の根元のデータを見易さのため加工したもの)であることを示します。

ダウンロードを選択すると指定した条件の下でのアクセスログのデータがダウンロードできます。この場合(グラフは表示されませんので)、“グラフ”、“ソート”の項目は無視されます。

アイテム	内容
年推移	アクセス数の年推移を表示します。
月推移	アクセス数の月推移を表示します。
日推移	アクセス数の日推移を表示します。
曜日	曜日毎のアクセス数を表示します。
時刻	時刻毎のアクセス数を表示します。
リンク情報	訪れたリンクページ毎のアクセス数を表示します。
→リンクページ	リンク情報のキーワードを隠して表示します。
→キーワード	リンク情報のキーワードを抽出して表示します。
ホスト情報	ホスト毎のアクセス数を表示します。
→ドメイン	ホストのアドレスの一番左端を隠して表示します。
→逆順ドメイン	ホストのアドレスの一番左端を隠して、それをひっくりかえして表示します。
ブラウザ情報	ブラウザ情報毎のアクセス数を表示します。
→ブラウザ	使用しているブラウザの情報を表示します。
→Mozilla/Ver.	ブラウザ情報から先頭のブラウザを表した文字列(Mozilla等)とそれに付属のVersionを抽出したもの。
→OS	ブラウザ情報からOSを判断してそれを抽出したもの。
→OS Version.	ブラウザ情報からOSとVersionを判断してそれを抽出したもの。
ページURL	ページURL毎にアクセス数を表示します。
ユーザ定義1	現在は使用できません。
ユーザ定義2	現在は使用できません。
IPアドレス	IPアドレス毎にアクセス数を表示します。
ダウンロード	データをダウンロードします。

### d. グラフ

表示するグラフの種類を指定します。

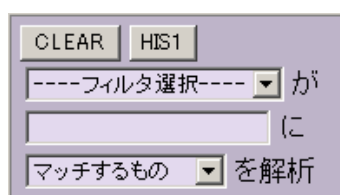
「Java」は、現在のところ使用できません。

### e. ソート

アクセス件数の多い順にソートするか、項目の並び順にソートするかを選びます。

アクセス件数の多い順に並べる場合、上位のものだけを表示してアクセス数の少ない意味少ないデータの出力を抑制することができます。

### f. フィルタ



CLEAR HIS1  
----フィルタ選択---- が  
に  
マッチするもの を解析

フィルタを利用すると、表示する内容を絞り込むことができます。  
 絞り込む方法に合わせてフィルタ項目を選び文字列を入力して解析したいアクセスを指定します。  
 フィルタの項目がテキストボックスへの入力文字列にマッチしたまたはマッチしないものが解析されます。  
 履歴のボタン(HISx)を使用することによって過去に入力したフィルタを一発で設定できます。よく使うフィルタは自然と左側にきます。  
 フィルタをクリアする場合には、フィルタ項目の選択で「履歴のクリア」を選択して解析を実行してください。

フィルタ項目	何を指定するか	入力する文字列の例
フィルタ選択	フィルタをかけません	
カウンタ	使用できません	
年	アクセス年を指定	2000,2001,2002
月	アクセス月を指定	1,2,12
日	アクセス日を指定	1,15,31
曜日	アクセス曜日を指定	SUN(大文字で指定)
時刻	アクセス時刻を指定	1,2,24
ブラウザ情報	ブラウザ、OSを指定	Windows,Linux
ホスト情報	ホストを指定	lideli¥.co¥.jp
リンク情報	リンク元を指定	spiral-net
IPアドレス	IPアドレスを指定	123¥.1¥.2¥.3
ページ	ページを指定	登録したページ名
ユーザ定義1	使用できません	
ユーザ定義2	使用できません	
履歴クリア	フィルタをクリアします	

## 2. ログの記録方法

めんたいログは複数のページを管理できるようになっています。  
 「ページメンテナンス」の「新規ページ登録」で新しいページを新規登録します。このときのページ名は、HTML文書に記述してログをとる時のものと一致させてください。  
 ページ名は15文字以内の英数字と“-”および“\_”が使用できます。  
 ページの内容に関しては自由にコメントしてOKです。ただし、100文字までです。

### a. 全体的な流れ

ログを記録するためには以下の作業をおこないます。  
 全体的な流れは次の通りです。

1. ページメンテナンス画面から新しいページを登録する。
2. ログをとりたいHTMLのページにタグを貼り付ける。

タグはログをとりたいページにイメージタグ(<img ..>)として埋め込みます。

### b. ページの登録

まず、ログを取得するページを登録する必要があります。  
 左側のメニューの「ページメンテナンス」をクリックします。  
 すると、右側にページを登録するための画面が表示されます。  
 次にページ名とページ内容、パスワードを入力して登録ボタンを押してください。

ページ名は15文字以内の英数字と“-”および“\_”が使用できます。  
ページ内容には適当のコメントを与えてください(なくても大丈夫です)。  
リンク先は入力しなくても大丈夫です。  
パスワードはToolsのパスワードを入力してください。

### c. ログをとるためのタグ

タグはログを採取したいページに挿入します。  
<body>~</body>の間ならどこでも構いません。  
目立たないところ、例えば </body>の直前などがおすすめです。

下にタグの記述を示します。リンク元を記録するためにJavaScriptを利用したのになっています。不適當なところで改行したりすると、JavaScriptのエラーやログの記録ミスにつながります。

通常はカット&ペーストして、必要なところだけを書き換えて使用してください。

```
<SCRIPT LANGUAGE="JavaScript">  
<!--  
xx = escape(document.referrer);  
document.write('  
</script>
```

UN= ToolsのIDを指定してください(2箇所)

PA= 登録したページ名を指定してください(2箇所)

## 3. ログの削除

左側の「ログ削除」をクリックしてください。  
削除したいページ、期間を設定し、ログを削除することができます。  
パスワードの欄には、Toolsのパスワードを入力してください。

以上で、めんたいログの説明は終了です。